

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【湯山小学校】

＜第1学年：むかしあそびの名人になろう＞

校区の様々な公園を探検し、自然と関わる活動を通して、湯山地域の自然の様子や四季の変化を感じることができました。公園に落ちていた自然物に興味を持ち、たくさんの落ち葉や木の実、木の枝などを、子どもたちはたくさん拾い集めました。「公園で拾ってきた木の葉や枝などを使って何ができるか」について話し合い、出し合った意見を基におもちゃを作ったり、みんなが楽しめる遊びを工夫したりしました。できたものを使って、地域の人に楽しんでもらうために、交流会を行いました。地域の人に関わったり、触れ合ったりする良さに気づき、進んで触れ合い、交流しようとすることができました。また、地域の人に教えていただいた昔の遊びにも興味を持ち、けん玉やお手玉、だるま落とし、羽根つきなども楽しむことができました。



＜第2学年：大好き湯山 町たんけんをしよう＞

湯山の地域を探検し、自然や神社仏閣、公共施設、店、地域の人々と触れ合いながら、自分が住んでいるふるさと湯山に親しみを持つとともに、湯山の良さを感じることを目的に、生活科「町たんけんをしよう」を行いました。探検に向けて、住んでいる場所の近くの様子について、絵や写真で紹介をし合ったり、地図パネルを使って学校からの道をたどりながら地域の特徴を話し合ったりしました。

町探検当日は、溝辺コース（湯山中学校・湯山学校給食共同調理場・巖島神社・湯の山郵便局）と湯の山コース（湯山救急出張所・湯の山エレベーター・コンビニエンスストア・コミュニティホール）に分かれて出かけました。訪れた場所で、児童は質問をしたり、お店や職員の方の説明を熱心に聞いてメモをしたりして、地域の良さをたくさん感じました。探検の様子は、グループでポスターやパンフレットにまとめ、湯山大好き報告会を行い、伝え合いました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【湯山小学校】

<第3学年：湯山調査隊>

総合的な学習の時間「湯山調査隊」では、湯山地区の特産品であるたけのこや竹についての学習をしました。1学期は、JA湯山支所や地域の方にご協力いただき、たけのこ集荷場の見学をしたり、朝採りのたけのこの皮むき体験や試食をしたりしました。子どもたちは、集荷場に集まるたけのこの量に驚いたり、湯山のたけのこのおいしさに感動したりしていました。また、2学期には、地域の方々を講師にお招きし、湯山の竹を使って竹細工体験をしました。花瓶、貯金箱、竹鉄砲、弓矢の4つのグループに分かれて、作り方を教えていただきました。のこぎりや小刀などの道具を初めは恐る恐る使っていた子どもたちでしたが、講師の方にサポートいただき、次第に上手に使えるようになりました。世界に一つの自分だけの竹細工が完成し、子どもたちも大満足でした。それぞれの活動を通して、ふるさと湯山のすばらしさを体感することができました。



<第4学年：やさしさ見つけ隊、やさしさ広げ隊Ⅰ・Ⅱ>

総合的な学習の時間「やさしさ見つけ隊、やさしさ広げ隊Ⅰ」では、「共に生きる障がいのある人と」を学びました。講師を迎えて交流し、「車いす体験」「手話体験」「ガイドヘルプ体験」を行いました。児童は、交流や福祉体験、発表会を通して、障がいについて関心を高めたり、理解を深めたりして、これからの生き方や自分にできることを考えました。

「やさしさ見つけ隊、やさしさ広げ隊Ⅱ」では、「共に生きる高齢者と」について学び、高齢になることでの変化を考え、「高齢者体験・講座」で高齢者疑似体験をしました。重りなどを着けて歩く活動などを行い、どれだけ大変なのかを実感しました。

これらの学びを通して、ユニバーサルデザインの視点で、「みんなにやさしい町は、みんながやさしい町」であることに気付き、互いを理解し、心を通わせる大切さを実感し、自分にできることを実践していきたいと考えました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【湯山小学校】

<第5学年：ぼくら環境守るんジャー>

総合的な学習の時間「ぼくら環境守るんジャー」は、石手川の水質調査を通して、環境問題を身近な問題として捉え、関心を持って自分にできることを考えたり、湯山地区の自然に触れ合いながら環境問題に意欲的に取り組んだりすることを目的に活動しました。1学期は、自分の知りたい環境問題について、図書資料やインターネットを活用して調べ学習に取り組みました。2学期には、松山市エコリーダーの方をお迎えして、「川の生きものから水質を知る～石手川の水質～」と題して環境学習を行いました。学校横の石手川で採取した水生生物を見ながら、川の水質を確かめました。また、農林水産省道前道後用水農業水利事業所の「横谷調整池の生き物引っ越し大作戦」に参加し、横谷調整池の環境について学んだり、住む生き物に触れたりしました。これらの活動を通して、児童の湯山の自然を大切にしようとする気持ちが深まりました。



<特別支援学級：「野菜を育てて収穫しよう」「交流会をしよう」>

特別支援学級（ささのこ学級）では、生活単元学習「野菜を育てて収穫しよう」「交流会をしよう」というテーマで活動を行いました。

「野菜を育てて収穫しよう」では、友達と協力しながら水やりや草取りをして育てた野菜を収穫し、笑顔いっぱい家庭に持ち帰りました。野菜の収穫が初体験の児童もあり、夕食で家族と一緒においしくいただいた話で大変盛り上がりしました。また、サツマイモの収穫も行い、力を合わせて調理して、大学いもをみんなでおいしくいただきました。

「交流会をしよう」では、中学校の先輩との交流活動で道後の町巡りを行いました。憧れの先輩たちと一緒に神社を訪れたり、足湯につかったりして地域の良さを味わいました。

